

今週のドル円相場見通し

今週のドル円は底堅い展開となりそうだ。1ドル=100.00-104.00円を想定している。ジャクソンホールでのイレンFRB議長とフィッシャーFRB副議長の発言を受けて9月利上げ観測が急速に高まったため、今週以降も米利上げを期待した買いが入りそうだ。フィッシャーFRB副議長は「8月雇用統計がFOMCの決定に影響へ」と述べたことで、9月2日の米雇用統計には市場の注目が非常に集まるものの、余程の弱い結果が出ない限りは9月利上げが現実化しそうだ。米早期利上げ観測が堅調地合いを維持する米国株には足枷となる点に注意が必要だが、基本的には押し目を拾っていきたい。上値の目処は12日高値の102.275円や2日高値の102.833円、7月13日安値の103.904円となる。一方、下値は22日高値の100.936円や26日安値の100.063円、23日安値の99.941円となりそうだ。

今週のGI24コメンテーターの一言

コメンテーター	通貨ペア	予測	一言
荻野金男	ドル円		ドル円は前週末にイレン米連準備理事会(FRB)議長とフィッシャーFRB副議長がそれぞれ「9月利上げの可能性がある」と発言したことによって、買いが進んだ。今週末の注目目は8月米雇用統計。フィッシャーFRB副議長は「今回の雇用統計は利上げを巡る決定を左右し、データ次第で年内複数回の利上げ」と述べている。米雇用統計が予想通り強ければ9月利上げの可能性も一段と高まる。また、黒田日銀総裁がジャクソンホールで「量、金利のいずれも追加緩和の十分」と発言したこともドル円のサポートになるだろう。テクニカル面では、下値は一目均衡表の転換線100.90円や前週末安値の100.063円など、目処になる。上値は102.50-65円ゾーンで超えると一目基準線の101.13円も突破してくる。101円台前半から100円台半ばへの下値は、レジスタンスで雇用統計を迎えたい。
和田仁志			今週のドル円は引き続き底堅い動きを予想している。先週末のイレンFRB議長と黒田日銀総裁の発言などを受けて、市場では日米金融政策の方向性の違いが改めて意識されており、下値を切り上げる展開となりそうだ。ファンド勢中心にまだまだショートポジションが高水準で維持されており、今週末の8月米雇用統計次第では、上値を試す可能性もあるだろう。上値では、2日の高値102.833円が目先の目処として意識されているほか、一目均衡表基準線の103.13円がレジスタンスレベルとして意識されている。一目均衡表雲下限の104.42円もポイントとなっている。下値では、15日の高値101.456円が目先の目処として意識されているが、一目均衡表転換線の100.90円がサポートレベルとなっている。いずれにしても、米長期金利の動向に左右されそうだ。

今週の経済指標

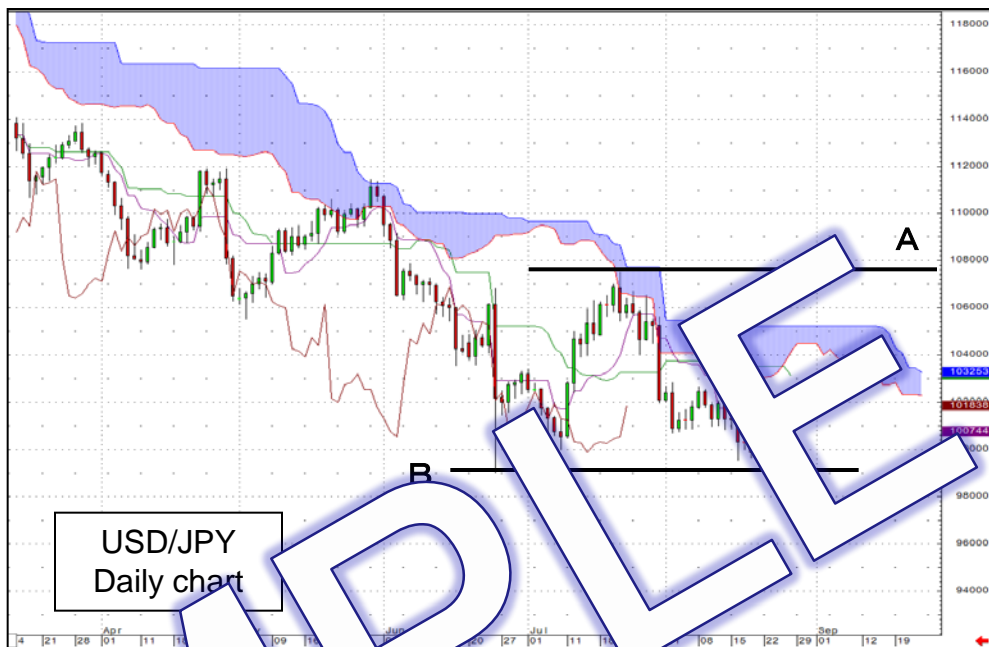
日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
31日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	8月	17.9万人		17.5万人
31日	22:45	水	USD	シカゴPMI	*	8月	55.8		54.0
1日	10:30	木	AUD	小売売上高	前月比	7月	0.1%		0.3%
1日	21:30	木	USD	新規失業保険申請件数	*	前週分	26.1万件		26.5万件
1日	23:00	木	USD	ISM製造業景況指数	*	8月	52.6		52.0
2日	21:30	金	USD	非農業部門雇用者数	前月比	8月	25.5万人		18.0万人
2日	21:30	金	USD	失業率	*	8月	4.9%		4.8%

一言コメント…週半ばから米重要指標が相次ぎます。米雇用統計を受けて米利上げ観測が高まるか注目されます。

ピックアップ・テクニカル 『USD/JPY ・ EUR/USD』

先週末NY Close
(テクニカルは一目均衡表)

7月21日高値(A)	107.494
先行スパン2	105.12
先行スパン1	104.06
基準線	103.13
先週高値	101.945
NY Close	101.82
転換線	100.74
先週安値	99.941
6月24日安値(B)	98.949

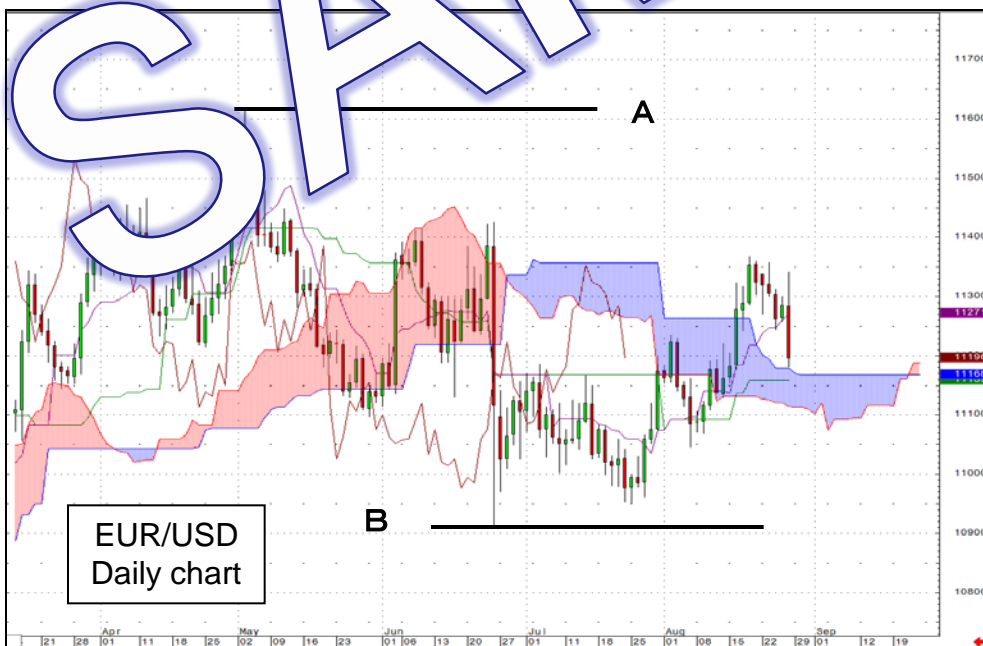


USD/JPY
Daily chart

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

テクニカル
コメント

先週のドル円は、方向転換がなかった。週末に買いが強まった。引き続き底堅く推移
と見ており、21日高値100.746円を一目均衡表の雲上値に押し目を拾いたい。上値の目処は12日高値
107.494円や8日高値102.833円となる。



EUR/USD
Daily chart

先週末NY Close
(テクニカルは一目均衡表)

5月3日高値(A)	1.16166
先週高値	1.13555
転換線	1.1272
NY Close	1.1196
先週安値	1.11808
先行スパン2	1.1170
基準線	1.1159
先行スパン1	1.1114
6月24日安値(B)	1.09121

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

テクニカル
コメント

先週のユーロドルは上値が重かった。一目均衡表雲が目先のサポートだが、雲下限を終値
ベースで下抜ければ一段安となりそうだ。

先週の今井雅人相場の「視点」

8月25日投稿記事

『ドル円は細かいレンジトレードで』

金融市場は完全に膠着相場に入ってきた。もはや、「夏枯れ相場」というだけでは説明が付かないほどの膠着だ。私自身もドル円で細かいレンジトレードを続けている。こういった膠着感にハマっている時というのは、レンジ設定の水準を間違えさえしなければ、意外と小銭を稼げることが多いので、割り切って少し考えてみていただければと思う。私自身は当面99-102円程度のレンジの小動きであるとの見通しのもとに、その範囲内でのレンジトレードを続けている。さて、材料が中々見当たらない中で、市場関係者はFRBのイエレン議長が今週末26日にワイオミング州ジャクソンで開かれる米カンザスシティ連銀主催の年次シンポジウムで講演することを目をしている。FRBの執行部であるダドリーNY連銀総裁やフィッシャーFRB副議長もそれぞれ目上りの必要性を訴えていることから、益々議長の講演が待たれているが、個人的には相場のレンジを作るといったような発言がでてくるとは考えていない。9月利上げの可能性についてどちらを取れるような表現にとどめておくのではないだろうか。また、市場はFRBの講演を待たずとも、またレンジの動きに戻ってしまうようなイメージを描いて

先週のエマングウェ

8月25日投稿記事

『政局・景気の両面で先行き不透明感』

今週の南アフリカランドは売りに押される展開。23日に「南アフリカ警察の特別組織(Hawks)がゴードン財務相に出頭命令を出した」「ゴードン財務相は1999-2009年にかけて南アフリカ歳入庁(SARS)の長官を務めていたが、当局はSARSに関連する問題を捜査している」と伝わったことがきっかけになった。翌24日にはゴードン財務相が出頭命令に従わない方針を表明。「ゴードン財務相は今回の件で財務相を退任するかもしれない」との報道も伝わっている。同国では今月に実施された地方選で現与党のアフリカ民族会議(ANC)が敗北。第1党は維持したもののズマ政権の弱体化が指摘されているほか、経済も景気後退局面に入りかねない状態で、大手格付け会社3社はいずれも投資不適格級への格下げを検討している段階にある。政局・景気の両面で先行き不透明感が強まるなか、今後もランドの動向に注意しておきたい。

情報提供元：グローバルインフォ

グローバルインフォ株式会社より提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、グローバルインフォ（株）は一切の責任を負いません。